

A-6 積雪期 南八ヶ岳縦走・赤岳(2899m)

【山行日】2022年2月27日～28日

【CL】3028 【参加者】3308 3433 3507 3512 3570 3577 3635 3685 3709 3752 3768 3775

【コース】1日目：名古屋7:00⇒10:30 美濃戸口…赤岳鉱泉 13:30…15:30 ジョウゴ沢でピッケル・アイゼントレーニング 16:00 2日目：赤岳鉱泉 5:15…6:10 行者小屋…阿弥陀分岐…中岳分岐…赤岳（強風で撤退）…行者小屋…12:00 赤岳鉱泉…15:30 美濃戸口⇒20:00 名古屋

スノーアドベンチャーは定光寺アイゼントレからスタートし、千畳敷カールの雪上訓練、赤岳テント泊経験の上で、本格雪山縦走である硫黄岳～赤岳を計画した。冬山は久々の豪雪続きでブッシュや岩の上をガリガリ歩くこともなく、快調な雪山を楽しめる状況。

ところで今回の山行は出発前から天気が悪化する予報。風雪が強まり稜線の風速は20m以上。美濃戸口に10時過ぎに到着したが、何と駐車場が満車で止められず、雪の壁をスコップやスノーダンプで掘り起こしやっと3台の車を駐車できた。

初日はジョウゴ沢での雪訓。赤岳鉱泉でアンザイレンしてジョウゴ沢に向かった。ジョウゴ沢F1の左ルンゼで急登をラッセル訓練、中腹でバケツを掘り、バックでのクライムダウンの練習をした。

2日目朝食は自炊室で各自簡単に取って余分な荷物をデポして装備を整えて外に出る。まだ真っ暗で星も見えない。5:15分出発。3班に分かれて行者小屋へ。阿弥陀分岐あたりで空が白み始めた。

稜線には雲が垂れ込み強風が吹いているようだ。これでは撤退かあと思いつつ足は進む。森林限界を超えると風雪が益々強くなる。下の階段も上の階段も雪で埋まり赤岳主稜の取付きあたりでは風雪がどんどん強くなってきた。

中岳～阿弥陀分岐で一息取っていると撤退してくる登山者二人。ソロの登山者はひとりでは心細くへたれて戻ってきたようだ。パーティーの顔を伺うがまだまだ行けそう。赤岳南稜線の岩稜帯に差し掛かると鎖も半分埋まり、強風で鎖も揺れている。顔面を叩く風雪を我慢して、ダガーポジションでアイゼン前爪を立てて登って行く。前面に赤岳～ツルネ権現分岐が見え、一気に岩場を抜けて頂上手前の岩峰ガリーを登り切ると頂上の標識が目に入る。やっと赤岳頂上に到着。標識にタッチ。メンバーにグータッチして岩陰で下山準備。天気が良ければこのまま横岳・硫黄岳へ向かう筈だったがメンバーの実力を加味すると無理できず赤岳で撤退と決定する。

ゴーグルをはめて下山するも風雪が強まりホワイトアウト気味で視界が遮られる。鎖場を慎重にバックでクライムダウン。昨日のジョウゴ沢訓練が生きている。パーティー全員が必死になってクライムダウン。樹林帯に戻って一息入れて赤岳鉱泉に戻った。装備解除して鉱泉の味噌ラーメンを食して美濃戸口に戻った。

大変厳しい山行であったが皆さん頑張ってくれて来てくれた。ここ数年のスノーアドベンチャーは天気に恵まれていたが、これだけ厳しい頂上アタックは久々であった。この経験はメンバーをより強い登山者にしてくれたのではないかと考えている。(3028)

